



# かわち 議会だより

発行/平成25年3月1日

発行/河内町議会 編集/河内町議会広報委員会  
〒300-1392 茨城県稲敷郡河内町源清田1183  
TEL 0297-84-2111 FAX 0297-84-4357  
URL <http://www.town.ibaraki-kawachi.lg.jp/gikai/index.html>



<かわち認定こども園 交通安全教室>

第29号

2013 MARCH

## 内 容

定例会審議内容  
一般質問  
臨時会審議内容  
議会議長及び議員の主な動向

# 第4回河内町議会定例会

11月30日から12月6日にかけて開かれた議会定例会において、町長から提出された報告1件、議案7件が審議されました。その結果についてお知らせします。

## 報告

報告第1号  
専決処分承認を求めることについて

衆議院議員総選挙の予算措置を行うため、平成24年度河内町一般会計補正予算(第4号)を平成24年11月16日付けで専決処分したもので承認しました。

議案第2号  
河内町営住宅設置条例及び河内町営住宅管理条例の一部を改正する条例について

子育て支援住宅の設置に伴い、子育て支援住宅の名称等を規定するために河内町営住宅設置条例の一部を、用語の定義等を規定するため河内町営住宅管理条例の一部をそれぞれ改正するもので可決しました。

議案第4号  
平成24年度河内町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について

歳入歳出予算の総額に56,232千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1,398,467千円とするもので、歳入の主なものは、国庫支出金6,383千円、療養給付費交付金7,363千円、県支出金24,262千円、繰入金18,138千円、諸収入86千円を増額。歳出については、総務費482千円、保険給付費55,700千円、諸支出金50千円を増額するもので可決しました。

庫支出金8,894千円、支払基金交付金10,269千円、県支出金8,057千円、繰入金4,424千円、繰越金3,775千円を増額。歳出については、保険給付費35,419千円を増額するもので可決しました。

議案第6号  
平成24年度河内町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について

歳入歳出予算の総額に2,829千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ85,097千円とするもので、歳入の主なものは、後期高齢者医療保険料3,710千円、諸収入284千円を増額し、繰入金1,165千円を減額。歳出については後期高齢者医療広域連合納付金2,829千円を増額するもので可決しました。

## 議案

議案第1号  
河内町子育て支援住宅条例の制定について

子育て世帯に対して良質な住宅を提供し、安心して子育てのできる環境づくりを支援することを目的とした子育て支援住宅の設置に伴い、入居条件及び管理等を規定するため条例を制定するもので可決しました。

議案第3号  
平成24年度河内町一般会計補正予算(第5号)について

歳入歳出予算の総額に57,970千円を追加し歳入歳出予算の総額をそれぞれ4,379,868千円とするもので、歳入の主なものは、地方特例交付金17,823千円を減額、地方交付税17,060千円、諸収入40,685千円、町債10,000千円を増額。歳出については、総務費5,089千円、民生費39,770千円、消防費5,300千円を増額するもので可決しました。

議案第5号  
平成24年度河内町介護保険特別会計補正予算(第2号)について

歳入歳出予算の総額に35,419千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ896,743千円とするもので、歳入の主なものは、国

議案第7号  
平成24年度河内町下水道事業別会計補正予算(第1号)について

歳入歳出予算の総額に361千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ312,467千円とするもので、歳入の主なものは、諸収入1,685千円を増額し、繰越金1,324千円を減額。歳出については下水道事業費361千円を増額するもので可決しました。

### ・省エネ対策について



2、質問者  
星野 初英 議員

東京電力福島第一原子力発電所の事故を受け、エネルギー政策の大きな転換が課題となり、電力分野だけの問題ではなく、社会全体で考えなければならぬテーマとなっています。電力多消費の我が国において、逼迫する電力事情を背景に、省エネ対策として公共施設へのLED照明の導入について質問します。

LEDは、従来の水銀灯や蛍光灯に比べて消費電力が少なく、電気料金も削減でき、二酸化炭素の削減効果が期待されています。当町の防犯灯の設置数と年間の電気代はどれくらいかかっているのか。また修繕依頼に係る費用もお聞かせ下さい。

次に電力事情と照明対策を推進するために民間資金を活用したリース方式があります。リース方式にすれば初期費用が抑制され自治体の財源負担が軽減し、さらに導入後の電力消費量も抑えられ、節電とコストダウンを同時に実現できることが期待できると思いますが、リース方式によるLED化につ

いて当町の見解をお聞かせ下さい。  
〈答 弁〉 総務課長  
町内の防犯灯は、水銀灯10基、ナトリウム豆基を含む1,406基あります。23年度で電気料380万円、修繕費で212万円支出しています。  
LEDの照明につきましては、最近価格が下がり、新設ではあまり差がなくなりつつあります。新規の箇所ですしに設置し、効果をみながら進めていきたいと思えます。  
公共施設の照明も、LED化を検討していきたいと思えます。

今後検討していくうちに、もっと安価になり負担がからなくなるかもしれませんので、順に検討を進めていきたいと思えます。

## 議会だより

### ・町政について

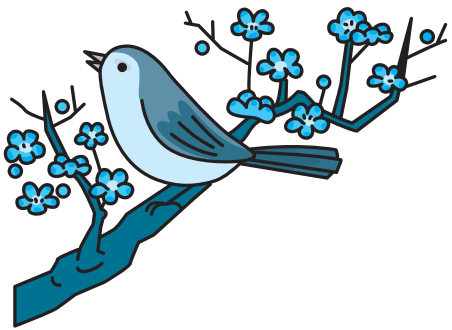


1、質問者  
大野 佳美 議員

これからの町政について伺います。今年度も後半に入り、次年度事業計画の基本となる予算編成が始まる時期ですが、財政的にも大変厳しい予算編成になるかと思えます。今後の運営についてお聞きします。また、町長におかれましては今後も町政を付託されるのかを伺います。

### 〈答 弁〉 町長

東日本大震災を含め大変厳しい時





3、質問者  
雑賀 正光 議員

・財政について

〈質問〉

将来世代に極力負の遺産を残さない、持続可能な町政の実現を目指すために、当町の財政についてお尋ね致します。

財政手法の中の一部であります。まず、収支比率、実質債務残高、積立金残高、財政調整基金残高の昭和60年度から平成22年度までの当町の推移、指標数値について財政運営上の課題について所見をお伺いします。

茨城県に提出している市町村財政比較分析表についてですが、当町の平成19年から21年の経常収支比率の分析欄のところには3年つづけて同じことが書かれています。そこには、頑張つて財政をなんとか改善しようということが書かれています。

私は、執行部側だけでなく、住民にも協力をお願いし、みんなで協力しなければならぬと考えます。そのためには住民の方々に今の状況を細かく周知・説明し、自分たちでできるものは自分たちで行動すべきことを提案するために財政白書をつくるということには非常に有効ではないかと思つていま



4、質問者  
牧山 龍雄 議員

・河内のお米について

〈質問〉

衆議院議員総選挙が公示され、各党は原子力エネルギー政策、経済再生、消費税増税、TPPなど様々な争点を掲げ論戦を繰り広げています。とりわけTPP問題は我が河内町の農業には重要な問題であり関心が高いと考えます。

農業問題は他にも、食生活の多様化により米の消費量が減り、米価が上がらず農家の経営はなかなかよくなりません。また、高齢化により農業従事者が年々少なくなっているのも現状です。このような中で、河内町の農業をいかに強くするか、活性化するか。農業収入、農家の収入をいかに上げるか、それらには計画・戦略がかかせないと考えます。

農産物の加工品を作る計画や、今取り組んでいることがありますか。付加価値を付け、アイデアを出し合つて新しい商品やおいしい食品を作るための計画や考えがあるか。また、農家の活性化を図っていくためには、県や町の各種団体や商工会を活用し、町全体が元気の出る計画をつくることも必

議会だより

要ではないでしょうか。経済課の取り組みについてお聞かせ下さい。

〈答 弁〉 経済課長

現在の第4次総合計画で、農業振興については農地の集約化や農産物の付加価値を高める目標を掲げております。農家自体は減少しているものの集約化は進み、規模の大きな農家は増加しています。また、高付加価値化では第三セクターふるさとかわちを設立し、ブランド米を販売して一定の地位を築いています。今後も、認定農業者を中心とした大規模農業を推進すると共に、なお一層の集約を図り安定した農業経営を目指すことが重要と考えます。

茨城県は全国で二番目にコシヒカリの生産量を誇っていますが、より消費者にアピールするため、県内8産地を厳選し稲数は、「おかずのいらぬかわちのお米」と「美浦そだち」が銘柄認定されて、県が普及に努めています。町でも平成9年度から主要駅でPR活動をを行い、ふるさとかわちでは田植え祭り、収穫祭を通じ消費者との交流を深め河内産米のPRを進めています。

11月には、茨城を食べよう運動推進協議会が設立され、昨年の東日本大震災や福島第1原発の風評被害を改善すべく、県内の農産物の安全性を広く啓発する活動を行います。町でもこの協議会と連動しながら、今後も広報宣伝活動を展開していきます。

す。次の世代に責任を持てる河内町の運営をしつかり考え、引き継ぐ。分かっ

てもらった上で協力してもらおうという体制をつくる。これは執行部と町民と議会、この三方で協力しなければできないものだと思いますし、町民側が自発的に財政白書をつくらうということも今後は必要になってくると思つてお

ります。財政白書、財政運営基本指針等についていかがお考えかお聞かせ下さい。

〈答 弁〉 企画財務課長

昭和60年度から平成22年度までの財政状況ですが、実質債務残高は18億円から30億円、積立金残高は3億5千万円から8億7千万円、経常経費比率の傾向は平成6年度から80%になり、93%の高い値を示しています。

実質債務残高を国が定める町の標準財政規模で割合を出すと、昭和60年度は105・2%で平成22年度では96・5%となりこの比率が低いほど健全なものと考えられています。また、地方債現在高比率は、89・1%で県内では、東海村、神栖市に次いで良い数字になっています。経常収支比率が高くなつている原因を低いときと比較しますと、繰出金、扶助費、公債費、補助費等が伸びております。特に補助費の一部事務組合負担金の伸びが大きいものとなっています。ちなみに、経常経費比率が100%を超える団体が県内9自治体

あり、県内平均が95・6%で、いかに経済状況が悪いかが伺われると思

います。財政白書の件につきましては、まず行政改革大綱のさらなる推進と、財政健全化を図るための計画を策定して、住民の皆様が協力して貰えるよう努力することにします。白書の作成は考えておりません。毎年広報かわちで町の財政状況を掲載しています。今後

も分かりやすく状況を周知していくことが、住民の皆様が把握して頂いたほうが合理的と考えます。

〈答 弁〉 町長

行政は企業ではないので、いかに住民サービスを豊かにしていくかを、今回の学校統合などにより行政改革を進めながら運営しています。ただ、近年は企業も減り、少子高齢化が進むなか経常経費比率が上がっています。出来るだけ借金を減らして公債費比率を下げ、住民サービスに財源がいくよう努力しています。周辺より低い給料と人数を減らし人件費を抑えて、いろいろな角度の勉強をして知恵を出し合つていかなければならないと思

います。今後とも引き続き引き締めながら、歳出するときは大胆に、大胆にしないと萎縮してしまう事になり兼ねないのです。サービス業の重要な部分なので、皆さんのご協力をお願いします。

平成25年 第1回

河内町議会臨時会

2月18日に開かれた臨時会において、町長から提出された報告1件、議案1件及び議員からの提出議案5件について審議しました。その結果についてお知らせします。

報 告

報告第1号  
専決処分の承認を求めることについて

東日本大震災で被災した道路の復旧に係る経費の予算措置を行うため平成24年度一般会計補正予算(第6号)を平成24年12月26日付けで専決処分したもので承認しました。

議員提出議案

議員提出議案第1号  
河内町農業委員会委員の推薦について

農業委員会等に関する法律第12条第1項第2号の規定による議会推薦の農業委員会委員に次の方を推薦しました。

- 住所 河内町猿島107番地1  
氏名 荒井 貞男 氏
- 住所 河内町下加納2833番地2  
氏名 松川 勝則 氏

議 案

議案第1号  
河内町新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について

新型インフルエンザ等対策特別措置法第37条で準用する法第26条の規定に基づき河内町新型インフルエンザ等対策本部に關し必要な事項を定めるもので可決しました。

議員提出議案第2号

河内町議会委員会条例の一部を改正する条例について

地方自治法の改正により、地方議会の委員会に関する規定が簡素化されたことから特別委員の在任期間、委員の選任について議会委員会条例に盛り込むもので可決しました。

議員提出議案第3号

河内町議会会議規則の一部を改正する規則について

地方自治法の改正により、これまで委員会のみで実施が可能であった公聴会の開催や参考人の招致を本会議においても行えることになることから新たに会議規則に盛り込むもので可決しました。

議員提出議案第4号

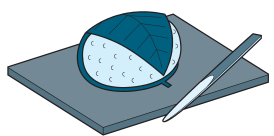
河内町議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例について

地方自治法の改正により、政務調査費の名称を政務活動費に改め条例に経費の範囲を規定するもので可決しました。

議員提出議案第5号

河内町議会政治倫理条例の制定について

議員は、町民全体の奉仕者として倫理の向上に努め、自己の影響力を不正に行使用することをせず、町政の発展に寄与することを目的として本条例を制定するもので可決しました。



## 議会を傍聴してみませんか

議会はどなたでも傍聴することができます。  
町議会定例会は3月、6月、9月、12月に開催されます。

3月定例会は7日（木）から14日（木）までの予定です。

詳しくは議会事務局までお問い合わせ下さい。  
TEL 0297-84-2111（内線）201

## 茨城県町村自治功労者表彰

2月14日、茨城県町村会館において町村自治功労者表彰式が挙行されました。議会議員として多年にわたり地方自治の振興発展に寄与された功績に対し茨城県町村議会議長会会長より、福智正之議員、牧山龍雄議員に表彰状が贈られました。

## お知らせ

「かわち 議会だより」は本会議で行われた内容を要約してお知らせしております。

詳しくは河内町議会会議録をご覧ください。議会会議録は、河内町のホームページからご覧いただけます。

また、会期の日程や一般質問事項表、議案目録等も詳しくご覧いただけます。

URL

<http://www.town.ibaraki-kawachi.lg.jp/gikai/index.html>



## 平成25年第1回(3月)定例会一般質問

質問日	氏名	質問事項
3月14日	雑賀 茂	・教育長の教育理念及び学校運営の考え方について ・いじめや体罰について町内小中学校における現状と今後の取り組みについて ・豊かな心をはぐくむための教育について
〃	雑賀正光	・入札について ・補助金について
〃	星野初英	・防災に強いまちづくりについて

## ◆ 議会議長及び議員の主な動向 ◆

平成24年12月から平成25年2月

12月2日	歩け歩け会	30日	町村会・議長会合同定例会
3日	社会福祉協議会理事会	31日	ネットワークー県南大会
5日	街頭キャンペーン		
6日	平成24年第4回議会定例会本会議最終日/全員懇談会	2月1日	教育論文表彰式並びに教育講演会
14日	身障者もちつき交流会	5日	議員全員懇談会/広報委員会
18日	河内町年末警戒活動		龍ヶ崎地方塵芥処理組合議会全員協議会
21日	社会教育委員会	13日	水道運営審議会/龍ヶ崎地方衛生組合議会全員協議会
22日	知事と懇談会	14日	茨城県自功労者表彰式/町自立支援協議会
28日	御用納め	15日	第1回後期高齢者医療広域連合議会定例会
1月4日	御用始め	18日	第1回町議会臨時会/予算内示会/龍ヶ崎地方塵芥処理組合議会定例会
10日	明日の茨城づくり新春の集い	19日	町村議員自治研究会
13日	河内町成人式/消防出初め式	20日	稲敷地方広域市町村圏事務組合議会定例会
22日	県南町村負担金審議会		
23日	稲敷郡・龍ヶ崎市・牛久市・稲敷市社会教育委員連絡協議会研修会	21日	龍ヶ崎地方衛生組合議会定例会
28日	農業委員会新年会	22日	交通安全対策協議会/議会運営委員会
29日	稲敷地方広域市町村圏事務組合議会全員協議会	25日	国保運営協議会/稲敷地方航空機騒音対策協議会

〈広報委員〉 委員長 大野 佳美 副委員長 星野 初英  
委員 牧山 龍雄 委員 服部 隆